



拙速な、第七中学校区

こども園整備

習志野市議会は、9月1日に開会し、予算案1件、一部改正条例2件、人事案件17件、契約案件2件、報告1件などについて、9月29日まで審議します。

22の議案の中、特に注目すべきは「第七中学校区こども園整備事業」です。9月8日の総括質疑（提案された議案に対する質疑）において、多くの議員から厳しい質問が出されました。

「第七中学校区こども園整備事業」はもともと、「こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画<第2期計画>」の中で、2020年（H32年）からの第3期計画の中で進めることとして、今年の5月頃までは何も示されていませんでした。

ところが、市立秋津幼稚園・香澄幼稚園の児童数が年々減少しており、集団教育がなり立たないとして、市は急遽6月に、秋津幼稚園と香澄幼稚園を統合して、香澄幼稚園を改装するだけの（仮）香澄こども園を作ることを提案しました。

この提案には、第七中学校区のこども園構想の全体計画が示されておらず、専門家会議も一度も開かれていません。丁寧に検討すべきであるのに、地域の声を聞かずに急いで計画を進めようとしています。

このような市の提案には賛成できないという意見が、多くの議員から出ました。今後文教福祉委員会で審議されます。習志野市として保育・幼児教育のあり方をしっかり確認していかなければなりません。

【一般質問】

9月11日から、各議員が市政について質問する「一般質問」が始まりました。私、藤崎は13日に一般質問を行いましたので、今週、来週の2週にわたってご報告します。

9月市議会日程	
9月 1日（金）	本会議 初日 市長から議案の提案理由の説明。
4日（月） ～ 7日（木）	議案調査、勉強 同上
8日（金）	本会議。総括質疑。
11日（月） ～ 19日（火）	市長への一般質問 同上
20日（水）	総務・都市環境 常任委員会
21日（木）	協働経済・文教福祉 常任委員会
22日（金）	一般会計予算委員会
25日（月） ～ 28日（木）	委員会報告作成など 最終日に向けた準備。 同上
29日（金）	本会議。議案、請願など について、質疑、討論、 採決をして、閉会。

(1) 放課後児童会の問題について

【藤崎】津田沼児童会について、3点

- ① 支援員を委託した民間事業所と市職員との連絡会議について
- ② 「満足度調査」に向けての準備
- ③ 契約書の仕様書に基づいた業務がかく実に行われているかのチェック

について、実施状況を伺う。

【児童育成課】連絡会議は、全児童会職員、市担当課との連絡調整・情報共有を目的としている。本年6月に1回目。10月に実施予定の「利用者満足度調査」にむけて意見交換。満足度調査は放課後児童会を利用する全保護者を対象にしている。これまでの約6ヶ月間、仕様書に基づく適切な運営が行われている。

【藤崎】夏休みだけ、さらに241名追加加入したが、施設・支援員のやりくりが大変だったと思う。待機児童が多く発生している中、通年で受け入れを拡大できないか。

【児童育成課】夏休み期間中に使用しない教室等を借用していることから、通年で借用することは難しい状況である。

【藤崎】大規模化している児童会は、①子どもたちが騒々しく落ち着けない。②些細なことでケンカになる。③事故やケガが増える。など、子どもたちに深刻な影響を与える。厚労省の省令には、児童会の適正人数は40名とされているが、鷺沼小学校、谷津小学校などの過密状態の解消に向けてどう取り組むのか、伺う。

【児童育成課】定員は超えていないが、今後支援員確保、余裕教室の確保、児童会の分割も視野に入れて検討していく。

【藤崎】支援員の夏季休暇は7月から9月までにとることができるが、夏休みに受け入れ児童数が増加する中では、中々休暇を

取得できない。船橋市は6~10月、八千代市は7~10月に取得できる。このように取得しやすくなる取組みはできないか。

【児童育成課】他の市職員も含めた職員全体に関わる事なので、難しい。以上。外国籍の児童の増加による問題については次週ご報告します。

新しい保育所の内覧会に参加

10月に開園する「ブレーメン津田沼保育園」を内覧させていただきました。

0歳児から5歳児まで受け入れがあり、各年齢に配慮した保育室設備、園庭、ウッドデッキ、夏季プールのための屋上設備、トイレ、シャワー室、お昼寝用簡易ベッド(全員分)などが整っていました。また、保育士さんが牛乳パックを利用して手作りのおもちや腰掛を作って、児童を迎える準備をされていました。

